



御在所山 1,079m

白髪山 1,769m

カヤハゲ 1,720m

三嶺 1,893m

網附森 1,643m

地蔵頭

天狗塚 1,812m

高板山 1,427m

神賀山

昔語り

地域に残る、昔の話を掲載しています。

追い剥ぎ峠付近の眺望…塩の道は、物部町大板からさらに四ツ足堂峠など3つのルートに分かれ、四国山地を越えてはるか徳島県にまで通じていた。

大板馬頭観音・葛橋記念碑

葛橋の人柱

七百年ほど前のこと、物部川(旧横山川)は橋がなく、渡ることができませんでした。

ある日、利勝という尼法師がこの村の不便な話を聞き、いろいろ考えた末に葛のつり橋を架けることに。両岸の人々は必死で働きましたが、両岸の橋台をいくらか壊しても崩れてしまいます。あきらめかけましたが、利勝尼は「この橋には人柱をたてるより他に方法はない」と自分が人柱になると言いました。利勝尼が死んでしまつと誰も橋を作ることを知りません。そこで、褒美を与えるとおふれを出し、二人の男が申し出ましたが約束の日が近づくと生まれたばかりの乳飲み子を身代わりに置き、逃げていきました。

涙をのんで乳飲み子を人柱として生き埋めにし、人々は念仏を唱え、冥福を祈りながら死に物狂いで夜を日についで働き、「大板の葛橋」が完成したのですが、利勝尼は白装束をまとい、人柱になった乳飲み子の位牌をしつかりと抱き、眠るよりに祭壇の前で息絶えていました。

現在の大板橋の西詰め近くに利勝尼と乳飲み子を祀った観音様と記念碑が建っています。



源太坂か

源太物語

むかし、横山のあるところに

源太という若者がいました。まことに素直で近所の人々から「源ちゃん、源ちゃん」と可愛がられて大きくなりました。彼は歌が上手で、中でも『一上り新内』が得意でした。源太は方々の村祭りなどに行つては喉を競い、その哀調をおびた唄声は特に若い女の心を魅了したものでした。

源太と同じ集落に於雪という女性がいました。十六歳の新妻でしたが、源太におもいを寄せるようになり、夫の目を盗んでは逢瀬を楽しむようになっていました。しかし、人妻であり夫婦になることはできないので、とうとう「来世で一緒になろう」と二人はかたく誓い合い、心中の約束をしました。

源太は、於雪になんとか綺麗な晴れ着を着せて、冥土への道行きを飾つてやりたいたと思いましたが、なかなかその金がありません。ある時夜道を帰っていると、老夫婦が細々と宮む店の前で小銭を並べて数えているのを見えました。源太の心に魔が差し、二尺五寸ばかりの脇差しを隠し持ち、寝静まるのを待ちました。夜は次第に更け、老婆が小用のため雪隠(便所)に入ったのを待ち受け、斬りつけました。悲鳴を聞き、出てきた老翁も刺し殺し、袋に入れてしまつてあつた銭を抱えて家に帰りました。

翌朝、集落中大騒ぎになり、すぐ源太の仕業と分り捕らえられてしまいました。



催し

絵金の町赤岡で 土佐塩の道取り組み 10年目の集い

遠い昔に想いを馳せて
塩の道と歴史を学ぼう

■開催日 平成23年9月16日(金)

■開催場所 赤岡弁天座

■入場料 無料(一般参加者自由)

■受付開始 12時30分

■開会 13時

・記念講演『塩の道に歴史を想つ』
館長 宅間一之先生

(高知県立歴史民俗資料館)

・記念討論会『塩の道に地域おこしと
癒やしを求めて』

■閉会 16時30分

■問い合わせ

土佐塩の道保存会会長

公文寛伸

☎090(5274)0025



聞けば新たな
発見が！
ウオーキングが益々
楽しくなる

一日おいて、赤岡の奉行所から捕吏六人がやつてきて、源太は唐丸籠に入れられ担ぎ出されました。「あの源太さんが、こんなことになることは、思いもよらんことじゃ」、近所の人々は遠くから見送りました。

一行は山坂越えて、庄谷相の馬頭観音さまの前にさしかかりました。源太は「お役人さま、お願いがございませぬ。私の故郷横山と別れるのも今日限り見納めでございませぬ。御慈悲に一つ歌を唄わせてくだされませ」と頼みました。すると捕吏から、「皆の者も、よう休んでもよい刻限になつておる。籠の中でよければ唄つてもよからう、唄え」とお許しが出ました。源太はこれが最後だと、得意中の得意、「心中道行」の「一上り新内を、この世で只一人最愛の於雪に聞こえよとばかりに、一声高く張り上げて唄い出しました。その哀調をおびて澄み切った声は、山にこだまし、さすがの捕吏たちも陶然として、しばし我を忘れて聞き入っていました。



こうして道のりを重ねやがて赤岡の奉行所に着き、牢屋に入れられ一夜を明かしました。明るる日の昼過ぎ、四方を青竹の矢来で囲んだ刑場に引き出され、二人の切り役から延金(刀)を頂いて、二十歳の一期にその生涯を閉じました。
一方、於雪は何の詮議も受けず、一生を送つたと伝えられます。

ガイドさんが詳しく説明してくれます。昼食は山の幸満載でお楽しみにも！

参加者募集!!

塩の道 うおーく



今年塩の道がウオーキングコースとして再び甦つて10年目を迎える年となります。

コースを3回に分けて、案内ガイド付きで楽しみながらのんびり歩いてみませんか？今回は2回分を紹介し

■其の一

大板から久保川見渡し地蔵までの約11.6kmコース

昔語りのスポットを歩いて、時代をさかのぼってみませんか。

■開催日 平成23年10月2日(日)

■集合場所 8時30分出発

■集合場所 のいち駅

■其の二

久保川見渡し地蔵から山北までの約10kmコース

山北の懸崖菊も楽しめます！

「馬にあえるかもー?」

■開催日 平成23年10月30日(日)

■集合場所 8時30分出発

■集合場所 のいち駅

塩の道キャラクター
「ウーくん」も皆さんを待っています



■参加料 各コースお一人様 6,000円

(案内人ガイド・昼食・バス・保険付)
参加費は当日現金させて頂きます。

■募集人数 25人

定員になり次第、締め切らせて頂きます。

■問い合わせ・申込み先

香南市観光協会

☎56-5545

※其の三は11月20日(日)山北から赤岡のコースです。次号で紹介いたします。

